

## 富山県技術士会の活動報告

### はじめに

富山県技術士会は、(社)日本技術士会北陸支部の下部組織として、平成16年度に設立されました。昨年度は、設立総会、第1回講演会および第2回講演会などの活動を行いました。

平成17年度の活動として、定時総会および第3回講演会を開催しましたので、報告させていただきます。

### 平成17年度定時総会

定時総会は、平成17年6月18日(土)15:00～15:30に、富山地鉄ホテル11階会議室において開催されました。出席者は、委任状を含め45名です。森田代表幹事の挨拶の後、下記の議事次第に従って、平成16年度の活動報告と平成17年度の活動計画等について審議がありました。いくつかの質問や意見が出された後、各議案は、原案通り可決されました。

- ・ 開会の挨拶(森田代表幹事)
- ・ 議長の選出
- ・ 議事
  1. 平成16年度事業報告
  2. 平成16年度決算報告
  3. 平成17年度事業計画(案)
  4. 平成17年度予算(案)
  5. その他
- ・ 閉会の挨拶(小西副代表幹事)

### 第3回講演会

第3回講演会は、定時総会後の15:00～18:00の間に、同じ会場で開催されました。参加者は、講師を含めて40名です。今回は、下記に示す題目で、2名の講師の先生方に講演をして頂きました。

- ・ 電磁波の可視化技法と山岳遭難者搜索技術への応用  
富山県立大学教授 岡田敏美
- ・ 耐爆発構造物設計の現状と展望  
金沢工業大学教授 藤本一男

岡田先生の講演は、電磁波を利用して山岳遭難者の搜索を行うため、山岳ビーコンとコンピュータを利用して発信方向や場所を可視化する技術の研究です。ヘリコプターなどを利用したシミュレーションを繰り返して、実用化に向けてかなり研究が進んでいることが判りました。立山・剣岳などの北アルプスを抱える富山県では、既に富山県警が電磁波を利用したヤマタンを活用しています。しかし、より高性能な山岳ビーコンが実用化されれば、少しでも多くの遭難者が救助できるものと期待しています。



講演会の状況



懇親会の状況

一方、藤本先生の講演は、防衛庁技術研究本部の出身に相応しく、耐爆発構造設計に関するものでした。弾丸の跳飛、土への弾丸等の侵徹、空中爆発による爆風圧、爆土圧など、普段聞きなれない部分から講演が始まりました。しかし、後半には、世界貿易センタービルへの航空機テロや化学プラントの暴走などの事例が説明され、非常に興味深い内容でした。テロや戦争の脅威の他、事故の可能性が無くならない限り、必要な研究であることを痛感しました。

### まとめ

講演会が終了した後、会場を2階のレストランへ移して、懇親会を開催しました。講師の先生方も含めて29名の参加があり、活発な意見交換や交流が行われ、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

第4回講演会は、平成17年11月26日(土)15:00～18:00に、同じ富山地鉄ホテルで開催する予定です。次回は、北陸支部の役員を始め、他県の方々にも、多数参加して頂きたいと思います。

(富山 竹内勝信)